

①デザインの捉え方

ここでいうデザインは、造形の美を出発点としつつ、商品・サービスあるいは企業イメージなどが消費者、さらには社会にとって好ましい魅力的なものとなるよう設計すること、と定義する。

このようなデザインは、イノベーション創出の有効なツールの一つである。

②デザインマインドの高め方

身近に美しい自然や魅力的なデザインに触れる機会に恵まれていることで、おのずとデザインマインドが育まれる。

国民にとって身近なインバウンド観光、街づくり、地方創生などにおいて、デザインの効果が大きいことを示すことで、デザインの重要性についての認識を高める。

③デザイン経営の考え方

企業が顧客に提供したい独自の価値を、一貫したデザインコンセプトによって表現することで、企業のブランドが確立し、非価格競争力が高まる。

これは、デザイナーが企画・開発段階から関わり、開発、設計、調達、生産、販売、広報など企業の各部門が、一貫したデザインコンセプトを共有する、すなわち、経営の中にデザインを位置付けることによってはじめて実践できる。

④知的財産制度のあり方

こうしたデザイン経営に資する制度設計を示す。